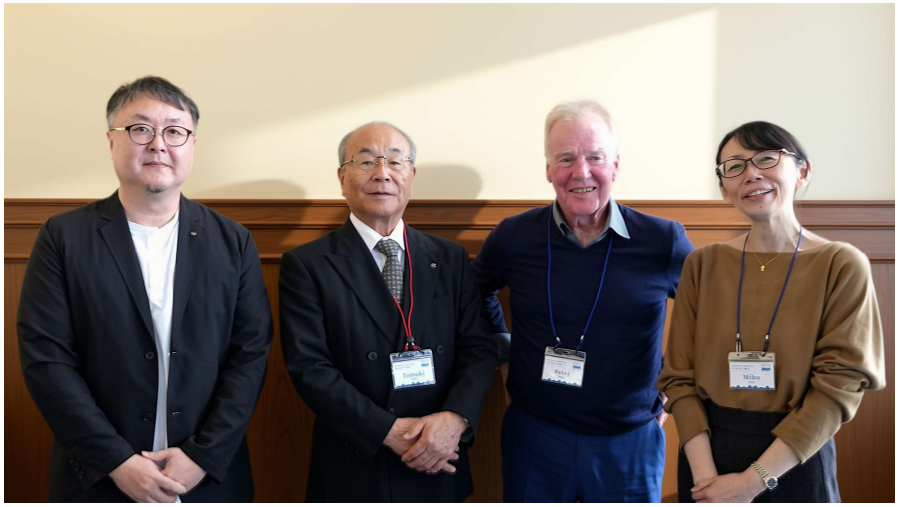
報道関係者各位

2026 年 11 月 4 日

福島県耶麻郡西会津町　／　西会津町教育委員会

西会津町と Center for Systems Awareness、AI 時代の学びに「ケア」をどう位置付けるか、共同の探究を開始



福島県西会津町（町長：薄 友喜）と西会津町教育委員会（教育長：高田 和豊）は、Center for Systems Awareness（米国／共同創設者兼エグゼクティブ・ディレクター：メッテ・ミリアム・ボエル博士、共同創設者：ピーター・センゲ氏）と、2026 年 10 月から 2027 年 3 月までの 6 か月間、Compassionate Systems に関する学習パートナーシップ（Phase 1）を開始します。同センターは、西会津町の教育委員会が、学校や地域の学びに Compassionate Systems をどのように生かせるかを支援します。

背景 ― AI の時代に、関係に気づき、対話する力を

AI やデジタル技術が急速に発展するなか、西会津町は、子どもたちが技術を活用する創造力とともに、その土台となる自分、他者、地域、自然との関係に気づき、対話し、協働する力を育むことを大切にしています。Phase 1 では、町が進める「創造性を育む学び」とも関連づけながら、ケアと創造性がどのように結びつくかを検討していきます。

連携先 ― Center for Systems Awareness とは

Center for Systems Awareness は、米国を拠点に、多様な国や地域の実践者とともに Compassionate Systems Change に取り組む、国際的なコミュニティ型組織です。共同創設者は、メッテ・ミリアム・ボエル博士（共同創設者兼エグゼクティブ・ディレクター）と、ピーター・センゲ氏（『学習する組織』著者、MIT スローン経営大学院上級講師）。

Compassionate Systems は、複雑な出来事を、その背景にある関係や構造を含むシステムとして捉える学習理論です。〈自分自身との関係〉〈自分と他者との関係〉〈自分とより大きな社会・自然・生態系との関係〉という三つの気づきを育みながら、課題に注意深く、思いやりをもって応答する力を養います。教育を含む多様な現場で、実践と学びが重ねられています。

Phase 1（2026 年 10 月～2027 年 3 月）の内容と役割

同センターは、基礎理論を学ぶワークショップへの参加機会、継続的なオンライン学習会、プログラム設計上の支援を提供します。西会津町は、町と教育委員会によるコアチームを編成し、地域の願いや課題を持ち寄りながら、学びと振り返りを重ねていく予定です。

Phase 1 では、対話・共同学習・振り返りを通じて、西会津町の学びの文脈に適したカリキュラムを検討します。学校や地域での具体的な実践については、必要な協議と手続きを経て別途決定します。

コメント

> 「今回の学習パートナーシップを通じて、私たちが大切にしたい関係性と、西会津の教育や地域に生かせる可能性を、丁寧に探っていきます。」（西会津町長　薄 友喜）
>
> 「まずは町のコアチームが学び、対話と振り返りを重ねながら、西会津の子どもたち、学校、地域にとって何が意味を持つのかを丁寧に考えていきます。」（西会津町教育長　高田 和豊）
>
> 「Compassionate Systems Change は、システム・アウェアネスを育み、自分自身、他者、そして世界との関係のあり方を見直すことを通じて、複雑な課題に注意深く、思いやりをもって応答できる人と共同体を育てていく変化のプロセスです。西会津町での共同研究を楽しみにしています」（Center for Systems Awareness）

参考リンク

西会津町公式ホームページ　https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/

Center for Systems Awareness　https://systemsawareness.org/

本件に関するお問い合わせ

西会津町役場・西会津町教育委員会　担当：物永 / TEL：0241-45-2216 / E-mail：kyoiku@town.nishiaizu.fukushima.jp

〒969-4495　福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙 3308 番地